

ひとつのはな #16 #17 #18

至斯道七十余年 高の共演

咸陽宮

武田志房

隅田川

大槻文藏

安達原

観世恭秀

黒頭

～ひとつのはな～

能楽の世界で大切にされている「はな」という言葉は、「魅力」と言う意味ともとれます。

日本には、あふれるほどの文化の魅力が古より受け継がれ、今もなお息づいています。

能楽堂で観る能楽公演もそのひとつ。

決して色褪せることのない、時空を超えた魅力を伝えてくれます。

公式サイト



令和5年10月9日(月祝)13時開演

観世能楽堂 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3F

4/12(水)

チケット発売